

第41回： 新たなる地下水汚染を防ぐために

開催日： 2001年2月22日(木)～23日(金) / 会場： 「大田区産業プラザ コンベンションホール」 東京都

開催趣旨： これまでに揮発性有機塩素化合物、硝酸性窒素、重金属等による土壌や地下水汚染が社会問題となり、汚染の実態調査法の開発、メカニズムの解明、除去・修復技術の開発等の様々な取り組みがなされてきました。このセミナーでは、これら研究の現状を把握するために、最近の研究成果や具体的な対策の事例を解説するとともに、21世紀をむかえた今、地下水汚染を未然に防止するための方法について考えるセミナーを企画しました。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 土壌・地下水汚染の現状と展望（村岡浩爾／大阪産業大学人間環境学部設置準備室）
- 土壌・地下水汚染の防止・浄化対策（平田健正／和歌山大学システム工学部）
- 残留性有機化合物による土壌・地下水汚染（中杉修身／国立環境研究所化学環境部）
- 欧米における土壌・地下水の浄化に関する法制度（大塚直／学習院大学法学部）
- 土壌・地下水中での汚染物質の動態予測（神野健二／九州大学大学院工学研究院）
- 土壌・地下水汚染への地理情報システム（GIS）の利用（平山利晶／国際航業(株)）
- 欧米における土壌・地下水汚染対策技術（美坂康有／(社)土壌環境センター）
- 大阪府高槻市の地下水保全対策（鞍谷保之／高槻市環境部）
- 秦野市における地下水の量の保全と水質改善の取り組み（津田信吾／神奈川県秦野市環境部）
- 岐阜県各務原市の硝酸性窒素による地下水汚染対策（寺尾宏／岐阜県保健環境研究所環境科学部）